

---

# 感情の狭間で

真浦塚真也

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

感情の狭間で

### 【コード】

N00801

### 【作者名】

真浦塚真也

### 【あらすじ】

感情の狭間で揺れる男のちょっと短い話

自分でもどうしたらいいのか分からない。いや、本当は全部分かっているのに分からないフリをしてるっていうほうが正しいのかもしれない。

『行けよ。早く行けよ！』と必死に脳に指令を送っているはずなのに、それを煙草の煙が邪魔しているのか、アルコールが感覚を麻痺させているのか、普段は心の片隅で怯えているちっぽけなプライドが邪魔しているのか、それともこのデカいだけが取り柄の体が怠けているだけなのか、俺は指令をただただ無視している。

くわえては離しを繰り返したせいか、煙草はもうふにゃふにゃだ。まるで自分みたいだよなあと皮肉めいた笑みまでこぼれる始末。

普通、映画やドラマの設定では、ここらへんで親友が誰かがノックもしないで蹴破るようにしてドアを空けて、俺の顔を見るやいなや物凄い形相で胸ぐらをつかんで、『お前、このままでいいのかよ！後悔したままでいいのかよ！』とか下手なドラマみたいなこと言ってる、ふてくされてる俺に無言でバイクのキーを投げて、『今からだったら、間に合うから。』とか言ってる、それに俺も感化されちゃって、急いでバイクで空港に向かって、チエックイン間際の彼女と運命の御再会！

まっ、そんなことはないだろうけど。それに俺、バイクの免許持ってねえーし。またつまらない笑みがこぼれた。

そんなドラマ的な物語なんかあるわけがない。『すれ違い』で全てが説明できる恋愛に、あれこれ演出を加えたところで、今年最強のC級ドラマ決定だ。

俺はまた皮肉めいた笑みを浮かべながら、テーブルの上に転がったビール缶に手を伸ばす。恋愛の演出は下手なくせに、恋愛でダメになった男を演じるのは得意らしい。このままじゃいけないことなんて、当の本人が一番分かっている。しかし、こうやって酒と煙草

を浴びるように堪能していたほうが、普通に考え込んでしまうよりも断然気が休まるということも、俺はよく知っている。

ふと、鏡に映った自分の顔が一瞬だけ目に入った。ずいぶんとまあ、ひどい顔をしたもんだ。でもそんなおかしな顔を、俺はまじまじと眺めることはできずにまた煙草に手を伸ばした。長い間、あんな顔を見ることはできない。もし見続けてしまったら、俺のちっぴけな威勢はどこかと遠くに飛ばされて、心の中を片方の感情が満たしに満たしてしまうから。俺はそんな不安な感情も一緒飲み込むように、ビール缶を力いっぱい握って、わざと喉を鳴らすようにゴクゴクと飲み干した。机の上には、同じように飲み干されたビール缶が所狭しとひしめき合っている。後どれくらいのビール缶が机の上に積まれていくのか、それは俺にも分からない。

自分でもどうしたらいいのか分からない。いや、本当は全部分かっているのに分からないフリをしてるっていうほうが正しいのかもしれない。

泣き顔と、そんな自分に呆れてそれでもなんだか安心しちゃっている情けない笑顔の狭間で、俺はまだまだ揺らぎそうだ。

(後書き)

ご覧頂き有難うございます。感想・評価など頂けると嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0080i/>

---

感情の狭間で

2010年10月18日20時24分発行